

令和6年3月

第28回 鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果概要

「第28回鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)」を実施し、結果をとりまとめましたのでお知らせします。

-
- 2023年7～9月期(前期)の業況は「横ばい」。
 - 2023年10～12月期(今期)の業況は「横ばい」。
～4年ぶりに行動制限のない年末となったこともあり、個人消費を中心とした経済活動の回復への動きは続いているが、物価高や人手不足の影響は根強く、業況は足踏みが続いている。
 - 2024年1～3月期の業況は「横ばい」となる見通し。
-

業況 D.I.

○2023年7～9月期(前期)は▲32(良い<悪い)と、前々期(▲34)と横ばい。

- 全体としては22期連続のマイナス。
- 前年同期(▲36)と比較すると、やや改善。
- 業種別では、建設業(前々期▲39→前期▲17)は大幅に改善したが、不動産業(前々期▲60→前期▲60)は横ばい、卸売・小売業(前々期▲46→前期▲75)は大幅に悪化し、運輸業(前々期▲50→前期▲60)も悪化した。

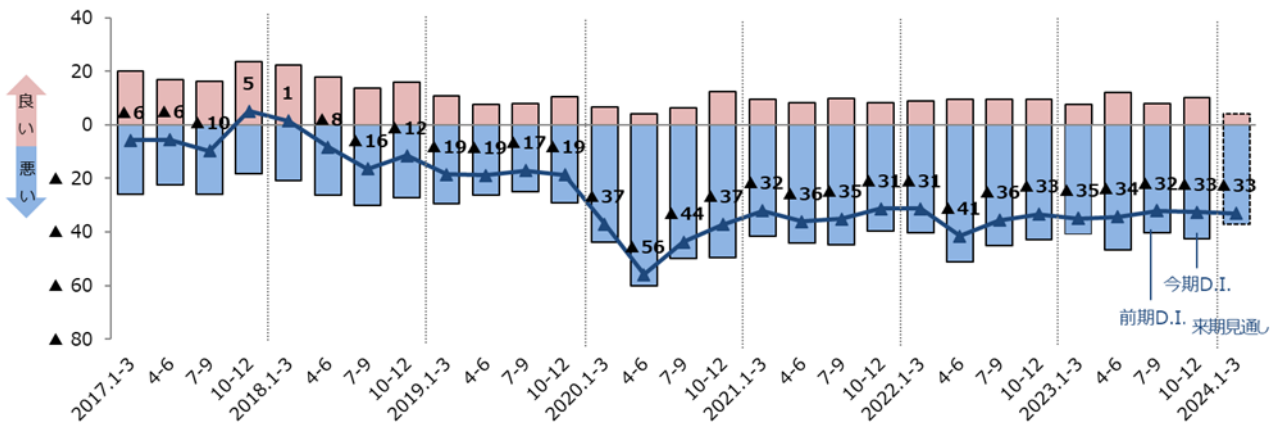
○2023年10～12月期(今期)は▲33(良い<悪い)と、前期(▲32)と横ばい。

- 全体としては23期連続のマイナス。
- 前年同期(▲33)と比較すると、横ばい。
- 業種別では、運輸業(前期▲60→今期40)は大幅に改善し、情報通信業(前期▲17→今期0)も改善したが、製造業(前期▲27→今期▲29)は横ばい、不動産業(前期▲60→今期▲80)は大幅に悪化した。

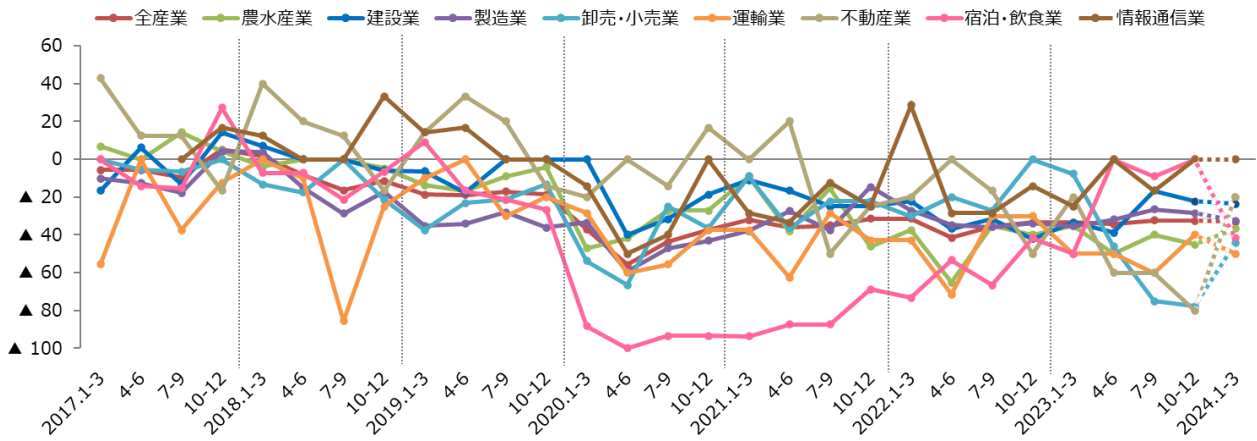
○2024年1～3月期(来期)は▲33(良い<悪い)と、今期(▲33)と横ばいの見通し。

- 前年同期(▲33)と比較すると、横ばい。
- 業種別では、卸売・小売業(今期▲78→来期▲44)と不動産業(今期▲80→来期▲20)が大幅に改善するが、宿泊・飲食業(今期0→来期▲42)は大幅に下落する見通し。

業況 D.I.の推移



業種別業況 D.I.



※ 上記は、業況 D.I. 値の概況です。詳細は「鹿屋市短期経済観測調査(かのや短観)結果」を御覧ください。

概 況

業況 D.I.	<p>○2023年7～9月期（前期）は▲32(良い<悪い)と、前々期(▲34)と横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全体としては22期連続のマイナス。 ➢ 前年同期(▲36)と比較すると、やや改善。 ➢ 業種別では、建設業(前々期▲39→前期▲17)は大幅に改善したが、不動産業(前々期▲60→前期▲60)は横ばい、卸売・小売業(前々期▲46→前期▲75)は大幅に悪化し、運輸業(前々期▲50→前期▲60)も悪化した。 <p>○2023年10～12月期（今期）は▲33(良い<悪い)と、前期(▲32)と横ばい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 全体としては23期連続のマイナス。 ➢ 前年同期(▲33)と比較すると、横ばい。 ➢ 業種別では、運輸業(前期▲60→今期40)は大幅に改善し、情報通信業(前期▲17→今期0)も改善したが、製造業(前期▲27→今期▲29)は横ばい、不動産業(前期▲60→今期▲80)は大幅に悪化した。 <p>○2024年1～3月期（来期）は▲33(良い<悪い)と、今期(▲33)と横ばいの見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 前年同期(▲33)と比較すると、やや悪化。 ➢ 業種別では、卸売・小売業(今期▲78→来期▲44)と不動産業(今期▲80→来期▲20)が大幅に改善するが、宿泊・飲食業(今期0→来期▲42)は大幅に下落する見通し。
生産高 D.I.	<p>○前期は▲24(増加<減少)と、前々期(▲15)より悪化した。</p> <p>○今期は▲27(増加<減少)と、前期(▲24)と横ばい。</p>
売上・完工高 D.I.	<p>○前期は▲22(増加<減少)と、前々期(▲18)よりやや悪化。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、建設業(前々期▲45→前期▲17)は大幅に改善したが、宿泊・飲食業(前々期57→前期29)と情報通信業(前々期38→前期0)は大幅に下落し、卸売・小売業(前々期▲36→前期▲78)も大幅に悪化した。 <p>○今期は▲19(増加<減少)と、前期(▲22)よりやや改善。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、運輸業(前期▲20→今期0)は大幅に改善し、前期大幅に下落した情報通信業(前期0→今期50)も大幅に上昇したが、前期大幅に改善した建設業(前期▲17→今期▲28)は悪化し、不動産業(前期▲50→今期▲67)も悪化した。。 <p>○来期は▲22(増加<減少)と、今期(▲19)よりやや悪化する見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、今期悪化した不動産業(今期▲67→来期▲17)が大幅に改善するが、宿泊・飲食業(今期36→来期▲13)は大幅に下落する見通し。
製品・商品在庫 D.I.	<p>○前期の在庫の過不足感は「過剰」が12%、「適正」が75%、「不足」が13%、D.I.は▲1(過剰<不足)となり、前々期(▲6)よりやや改善。</p> <p>○今期の在庫の過不足感は「過剰」が13%、「適正」が73%、「不足」が13%、D.I.は0(過剰<不足)となり、前期(▲1)と横ばい。</p>
製(商)品販売単価 D.I.	<p>○前期は23(上昇>下落)と、前々期(17)よりやや上昇。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、製造業(前々期15→前期26)と運輸業(前々期14→前期29)、宿泊・飲食業(前々期23→前期36)が上昇し、農水産業(前々期▲20→前期▲9)も改善したが、不動産業(前々期60→前期40)は大幅に下落した。 <p>○今期は20(上昇>下落)と、前期(23)よりやや下落。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、卸売・小売業(前期50→今期60)と運輸業(前期29→今期43)は上昇したが、建設業(前期32→今期16)と情報通信業(前期0→今期▲13)は下落した。 <p>○来期は16(上昇>下落)と、今期(20)よりやや下落の見通し。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 業種別では、情報通信業(今期▲13→来期0)が改善するが、今期上昇した卸売・小売業(今期60→来期38)は大幅に下落する見通し。

概 況

<p>原材料仕入単価 D.I.</p>	<p>○前期は 75(上昇>下落)と、前々期(73)と横ばい。 > 業種別では、不動産業(前々期 60→前期 80)と宿泊・飲食業(前々期 77→前期 100)は大幅に上昇した。</p> <p>○今期は 71(上昇>下落)と、前期(75)よりやや下落。 > 業種別では、不動産業(前期 80→今期 100)は前期に引き続き大幅に上昇したが、情報通信業(前期 71→今期 43)は大幅に下落した。</p> <p>○来期は 64(上昇>下落)と、今期(71)よりやや下落する見通し。 > 業種別では、前期と今期大幅に上昇した不動産業(今期 100→来期 80)と宿泊・飲食業(前々期 100→前期 79)が大幅に下落する見通し。</p>
<p>資金繰り D.I.</p>	<p>○前期は▲27(楽<苦しい)と、前々期(▲24)よりやや悪化。 > 業種別では、建設業(前々期▲35→前期▲26)と卸売・小売業(前々期▲7→前期0)はやや改善したが、運輸業(前々期▲22→前期▲33)は悪化した。</p> <p>○今期は▲26(楽<苦しい)と、前期(▲27)と横ばい。 > 業種別では、前期悪化した運輸業(前期▲33→今期▲22)は改善したが、前期やや改善した卸売・小売業(前期0→今期▲10)は下落した。</p> <p>○来期は▲26(楽<苦しい)と今期(▲26)と横ばいの見通し。 > 業種別では、不動産業(今期▲17→来期0)と情報通信業(今期0→来期13)、今期下落した卸売・小売業(今期▲10→来期0)は改善・上昇するが、今期改善した運輸業(今期▲22→来期▲33)は悪化する見通し。</p>
<p>雇用人員 D.I.</p>	<p>○前期は▲42(過剰<不足)と、前々期(▲45)よりやや改善。 > 業種別では、宿泊・飲食業(前々期▲64→前期▲43)は大幅に改善したが、農水産業(前々期▲14→前期▲29)と運輸業(前々期▲50→前期▲60)は悪化した。</p> <p>○今期は▲41(過剰<不足)と、前期(▲42)と横ばい。 > 業種別では、不動産業(前期▲33→今期▲17)は改善したが、前期悪化した運輸業(前期▲60→今期▲80)は大幅に悪化した。 > 鹿屋公共職業安定所(鹿屋市、垂水市、肝属郡を管轄)の2023年12月の有効求人倍率は1.49倍となっている。12月の有効求人数(パート含む)は3,645人、有効求職者数(パート含む)は2,441人となっている。</p> <p>○来期は▲37(過剰<不足)と、今期(▲41)よりやや改善する見通し。 > 業種別では、今期大幅に悪化した運輸業(今期▲80→来期▲70)が改善する見通し。</p>
<p>損益 D.I.</p>	<p>○前期は▲29(好転<悪化)と、前々期(▲30)と横ばい。 > 業種別では、農水産業(前々期▲58→前期▲38)は大幅に改善したが、宿泊・飲食業(前々期 29→前期 7)は大幅に下落した。</p> <p>○今期は▲34(好転<悪化)と、前期(▲29)よりやや悪化。 > 業種別では、情報通信業(前期▲13→今期 25)は大幅に改善しプラスに転じたが、前期大幅に改善した農水産業(前期▲38→今期▲50)は悪化し、建設業(前期▲26→今期▲42)と不動産業(前期▲50→今期▲67)も悪化した。</p> <p>○来期は▲29(好転<悪化)と、今期(▲34)よりやや改善する見通し。 > 業種別では、運輸業(今期▲50→来期▲30)と今期悪化した不動産業(前期▲67→今期▲17)は大幅に改善するが、宿泊・飲食業(今期 14→来期▲29)が大幅に下落する見通し。</p>

特別質問については、5人以上の従業者を雇用する企業に調査を依頼し、有効回答を得た 122 企業について集計した。

特別質問：「仕事と家庭（子育て）を両立しやすい職場環境づくり」について

- 男女別の従業員数について、回答企業のうち全従業員数に占める男性の割合は 59.4%で、女性は 40.6%となった。
- 従業員の年齢構成について、回答企業のうち全従業員数に占める「50 歳～59 歳」の割合が 23.3%と最も高く、次いで「40 歳～49 歳」の割合が 21.3%となった。
- 男女別の従業員の年齢構成について、回答企業のうち全従業員数に占める「50 歳～59 歳」の割合が男性（23.1%）と女性（23.6%）ともに最も高くなった。
- 「仕事と家庭（子育て）を両立しやすい環境づくり」への取組の認識について、「ある程度取り組んでいる」の割合が 49.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 20.5%となった。
- 「仕事と家庭（子育て）を両立しやすい環境づくり」に取り組んでいる理由について、「従業員の定着率の向上」が 22.3%で最も多く、次いで「従業員のストレス軽減や心身の健康確保」が 17.8%となった。
- 「仕事と家庭（子育て）を両立しやすい環境づくり」の取り組みが進まない理由について、「取り組む人材に余裕がない」が 31.0%で最も多く、次いで「必要性を感じていない」が 24.1%となった。
- 「子育て世代が働きやすい職場づくり」の取り組み状況について、実施中の取り組みでは「育児休業後の職場復帰への支援」が 55.1%で最も多く、次いで「妊娠中の勤務への配慮」が 51.4%となった。未実施・未検討の取り組みでは、「在宅勤務制度」が 70.2%で最も多く、次いで「出産にかかる費用への経済的支援」が 67.3%となった。
- 「仕事と家庭（子育て）を両立しやすい環境づくり」に取り組むことの課題について、「制度利用者の部署に代替要員を確保することが難しい」が 36.2%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職種と利用しにくい職種がある」が 28.2%となった。
- 「仕事と家庭（子育て）を両立しやすい環境づくり」に必要な支援について、「子育て支援策に要する費用負担に対する支援」が 44.1%で最も多く、次いで「他の企業等の取組み事例紹介」が 19.7%となった。

【調査概要】

- 1 調査対象： 市内事業所 173 先
（ 農水産業 33 先、建設業 22 先、製造業 54 先、卸売・小売業 18 先
不動産業 8 先、運輸業 11 先、宿泊・飲食業 19 先、情報通信業 8 先 ）
回答数：142 件 回答率：82.1%
- 2 調査時期： 2024 年 1 月
- 3 対象期間： 2023 年 7～9 月期実績(前期)、
2023 年 10～12 月期実績(今期)、
2024 年 1～3 月期見通し(来期)
- 4 調査方法： 郵送方式

5 集計方法： 回答数の構成比を求めた上で、「良い」の構成比から「悪い」の構成比を引いて「D.I.値」として指標化しました。

例えば、景況感の「良い」が10%、「悪い」が50%の場合、D.I.値は「▲40」となります。「D.I.」(Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス)は、企業や業界の景況感などを数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられています。

6 質問項目： 業況、生産高、売上・完工高、在庫、販売単価、仕入単価、資金繰り、雇用人員、損益、前期損益の好転・悪化要因、今期損益の好転・悪化要因、自由意見、特別質問(「仕事と家庭(子育て)を両立しやすい職場環境づくり」について)

鹿屋市 市長公室政策推進課

〒893-8501 鹿児島県鹿屋市共栄町 20 番 1 号

T E L : 0994-43-2111 F A X : 0994-42-2001

m a i l : seisaku@city.kanoya.lg.jp

